

夏秋ナス管理資料（定植前の準備） No.1

R8年1月
JA 福岡京築
京築普及指導センター

1. 定植ほ場の選定および定植準備

(1) 定植するほ場は以下の条件に合うほ場を選定しましょう。

- ① 連作障害を避けるため、3年以上ナス科作物を作付けしていないほ場
- ② ナスは多量のかん水を必要とするため、水を引き入れやすいほ場
- ③ 根の健全な生育および土壌病害抑制のため、排水性が良いほ場

(2) ほ場準備が初期生育、収量に大きく影響します。天気予報や土の乾き具合を確認しながら、早めに準備を始めましょう。

- ① 定植ほ場が決まったら、溝堀機または管理機などを使って周囲に**額縁明きよ**を施工しましょう。ほ場内部は額縁明きよへの表面排水を促すため、耕起しないようにしましょう（ほ場内明きよを除く）。
- ② 定植1ヶ月前に牛ふん堆肥と炭酸苦土石灰（参考：次ページ表）をほ場全面に散布し耕起しましょう。
*晴れ予報が続き、準備遅れの心配がなければ、②の直前（前日～数日前）に荒起こしをしましょう。（ほ場の物理性改善のため）
- ③ 定植1～2週間前に**基肥**（参考：次ページ表）を施用しましょう。微量要素欠乏が発生するほ場ではFTEも施用しましょう。

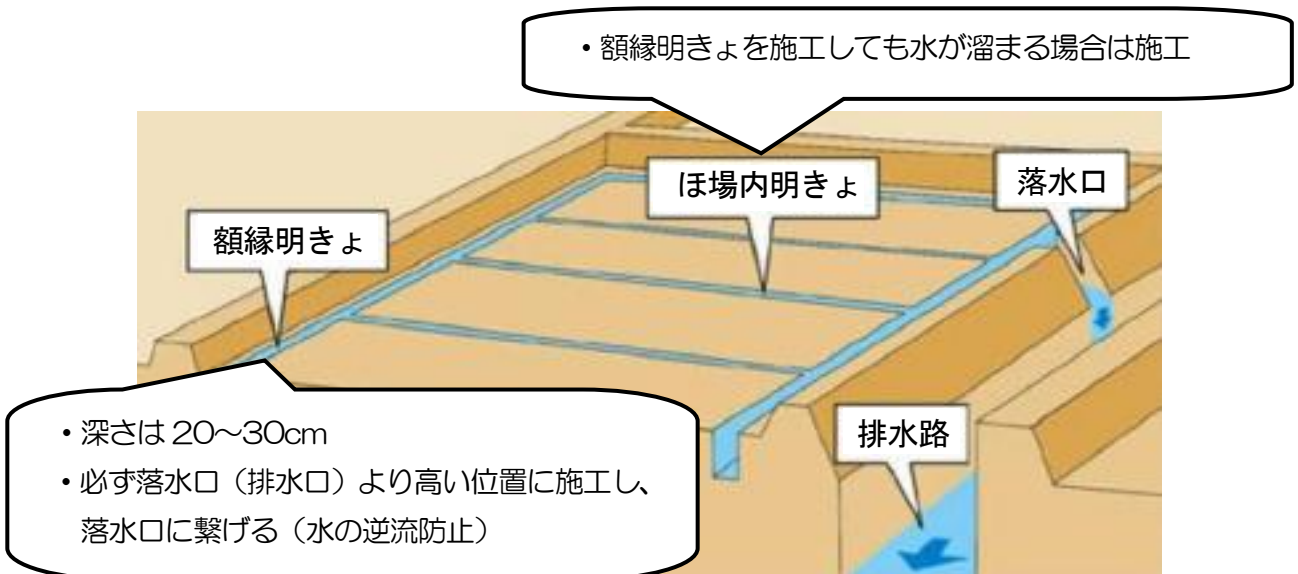


図1. 額縁明きよ施工事例（出典：諏訪地域湿害対策手引書）

表. 土壌改良材・基肥・追肥事例（施肥はパターンⅠ、Ⅱから1つを選択）

施用時期	区分	資材名	施用量 (kg/10a)
定植1か月前	土壌改良材	牛ふん堆肥	4,000
		炭酸苦土石灰	140

パターンⅠ ・7月下旬頃まで追肥不要（※天候により変動、追肥開始は草勢を見て判断）。豪雨後は要補正追肥。

おすすめ!

施用時期	区分	肥料名	施用量 (kg/10a)	成分量 (kg/10a)		
				N	P	K
定植 1～2週間前	基肥	スーパーマグ33-11 (FTE)	20 (4)			
		夏秋ナス一発2100 (21-10-10)	220	46	22	22
		硫酸加里	10			5
		NK化成2号 (16-0-16)	20	3		3
7月下旬 以降(目安)	追肥 (2週間おき)	NK化成2号 (16-0-16)	20	3		3

パターンⅡ ・定期的な追肥作業が必要だが、生育に合わせた施肥管理が可能。

施用時期	区分	肥料名	施用量 (kg/10a)	成分量 (kg/10a)		
				N	P	K
定植 1～2週間前	基肥	BMようりん (0-20-0)	40		8	
		スーパーマグ33-11 (FTE)	20 (4)			
		CDUs 555 (15-15-15)	100	15	15	15
		園芸化成250 (12-15-10)	100	12	15	10
6月中旬 以降	追肥 (2週間おき)	NK化成2号 (16-0-16)	20	3		3

④③と同時に畝幅200cm、畝高30cmで畝立てしましょう。なすは根量が多く、深根性のため、畝幅・土量は十分に確保しましょう。高畝にし、排水性を良くしましょう。また、定植床の地温確保と肥料の流亡を抑えるため、マルチで被覆しましょう。

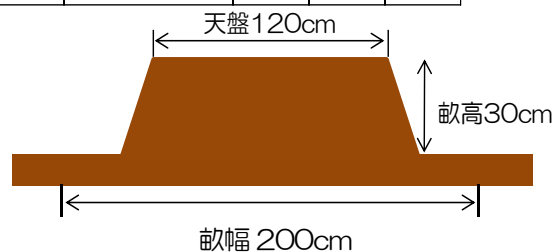


図2. 畝の立て方

※降雨予報で定植1～2週間前の作業が難しい場合、②の直後（翌日など）に③④を実施しましょう。

※どうしても水利の悪いほ場で作付けする場合、マルチを張る前にかん水チューブを設置しましょう。夕方にチューブかん水しつつ、管理作業をすると効率的です。



図3. かん水チューブの設置事例

<ポイント>

- ・定植位置を考慮して、畝中央から20cm程度ずらして設置します。
- ・かん水を繰り返すとチューブの位置が外側にずれるため、針金等で軽く押さえます。

(3) 定植直後の強風対策のため、防風ネットは定植前に設置しましょう。

2. 定植

(1) 苗は育苗センターから4月下旬に届く予定です。

苗を受け取り次第、速やかに定植しましょう。定植が遅れると、苗の活着が悪く初期生育が抑制されるため、適宜作業に務めましょう。

1反当たりの植栽本数【目安】

畝幅 (cm)	株間 (cm)	植栽本数 (本/10a)
200	80	600
	90	550

(2) 株間は、80~90 cm としましょう。

本支柱結束の関係上、隣りの畝と植穴（定植位置）を揃えましょう（図4）。

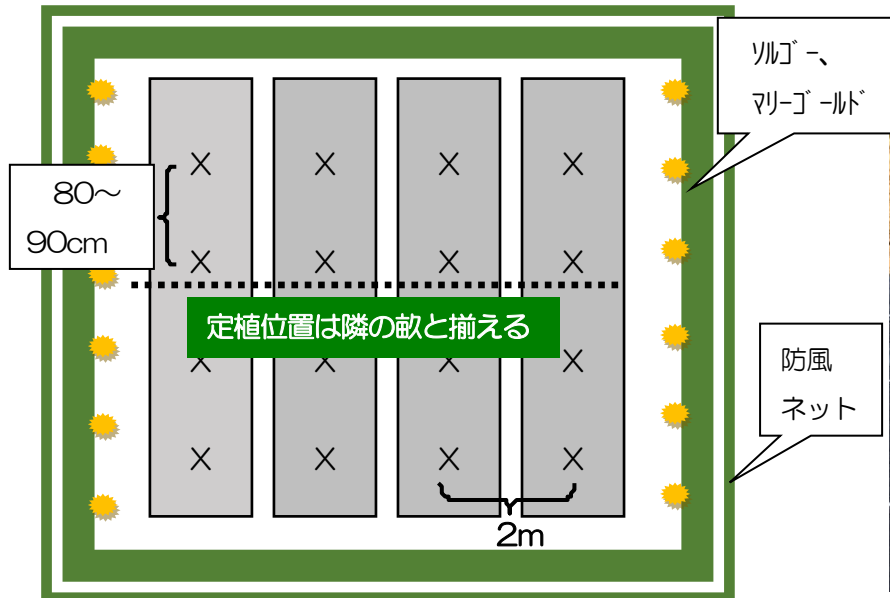


図4. 栽培ほ場設置例（“X”；定植位置）



図5. 仮支柱の立て方

(3) 定植は、暖かい日の日中に行い、苗の接ぎ木部分に土が被らない程度に植えましょう。定植後は活着を促すため、株元に十分にかん水をしましょう。定植後から約1か月は、土が乾燥しない頻度で株元にかん水をしましょう。朝方のかん水を心がけましょう。

(4) 定植後、活着促進のため株と平行に仮支柱を設置しましょう（図5）。ヒモはゆとりをもたせて8の字に結びましょう。

3. 害虫防除

生育初期の害虫被害は、その後の生育や収量に大きく影響します。以下を参考に害虫防除を行いましょ

●作付け前（マルチ被覆前）

＜コガネムシ類幼虫対策＞「ダイアジノン粒剤5」（4～6kg/10a）の全面土壌混和

●育苗期後半～定植当日

＜ネキリムシ類対策＞「プレバソンフロアブル5」（100倍、25 ml/株）のかん注

＜アブラムシ類対策＞「モベントフロアブル」（500倍、25～50 ml/株）のかん注

●定植後～収穫 14 日前まで

＜半身萎凋病対策＞「ベンレート水和剤」（500倍、200～300ml/株）の土壌かん注

（2025年12月16日登録反映時点の情報で確認）

土着天敵を利用した害虫防除について

夏秋なすには様々な害虫が飛来し、加害していきます。害虫による被害を最小限に抑えるため、化学農薬による防除が一般的とされていますが、ほ場の環境づくり・整備も必要です。

ほ場の環境整備の一環として、ほ場周辺に、**天敵温存植物**（マリーゴールド、ソルゴー）を植栽することをすすめています。



ヒメハナカメムシ



ヒラタアブ



テントウムシ類

図6. 土着天敵

＜種類と定植・播種時期＞

温存植物	播種時期	定植時期	備考
マリーゴールド	3月初旬 (50穴セルトレイ)	4月末～5月上旬 (なす定植時)	・品種：フレンチ系 ・自家育苗あるいは苗購入 ・種子はJA部会で注文可
ソルゴー	5月中旬まで (直播、条播き)	—	・倒伏するため、畝から1m程離して直播する ・種子はJA部会で注文可

マリーゴールドやソルゴーを植栽することで、そこにヒメハナカメムシなどの土着天敵が飛来します。飛来した土着天敵がほ場内の害虫（アザミウマ類、アブラムシ）を捕食し、害虫の発生を抑えることができる、という仕組みです。